

2023年6月 (No.408)

主な内容とページ

活況から軟着陸か、日本の半導体	1
日本市場、20-30年ぶりの大活況	2
バブル後は市場崩壊?	2
数量、金額を世界と日本で比較	3
数量は、実需を反映?	4
日系半導体企業、22年度業績 大手6社利益率14.4%	7
中堅17社は増収益、利益率13.3%	8
マイナーカードは「ハンコ」(SRL だより)	10

活況から軟着陸か、日本の半導体

昨年の活況から下落に一変した半導体市場。崩壊か、軟着陸か、変化が進行している。

1. 昨年のわが国半導体輸入は前年比5割増近く、消費は3割増の大活況だったが、今年は調整に入り、反動ともいえる異常在庫の増大、それに伴う市場崩壊の発生が懸念されている。
2. 本誌が、算定したところ昨年の活況は、金額面が顕著で、数量面では、市場の動きにほぼ沿った供給が行われた可能性が高いことが裏付けられた。
3. 従って市場で過剰在庫、それに伴う崩壊が発生、存在する可能性は低いとみられる。ただし、半導体ユーザーが在庫を過剰に抱え、また仕掛り品あるいは最終商品で在庫増大もみられ、注意が必要だ。

マイナーカードは「ハンコ」

マイナンバーカードの評判が良くない。保険証、公金入金口座で間違った情報が登録されるなど、不信が増大している。ミスはどうしても発生するが、子供のカードに親の口座を登録するなど、制度上も課題はありそう。カードの意義や効果を十分に検討・追求され国民の理解を得られるよう努力をしたのか、疑問だ。

本人確認を行うのに「ハンコ」も使われ、マイナーカードは、現代版ハンコとはいかないだろうか。あるいはデジタル時代のハンコでもよい。言いたいのは、皆がわかりやすい言葉を使う。半導体の世界は次から次と新語が登場、例えばブルートゥースは最初、「電線の代わり」といわれ、その表現で理解が進み市場が拡大した。

それから大事なものはコストと安全だろう。アップルは音楽配信の道を切り開いたが、それは違法な複製が出来ず著作権を守る仕組みが奏功した。マイナーカードの普及で行政コストを削減、安心、安全な社会を実現する。今後の5年、10年を見据えた展望を描き、理解と協力を得ることを政府は行わなければならない。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 6 月 (毎月 1 回発行) 第 34 巻 6 号 (通巻 408 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

June 2023, No.408

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)